

学習の指針（シラバス）

教科名	国語	実施学年	3年	週時数	3時間
-----	----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・国語に対する関心を深め、進んで表現したり、理解したりできる。
- ・自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じて適確に話したり聞いたりする能力を身に付けることができる。
- ・自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして、論理的に書き表す能力を身に付け、文章を書くことができる。
- ・目的や意図に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する能力を身に付け、読書を生活に役立て、自己を向上させることができる。
- ・表現と理解に役立てるための、漢字や文法等について理解し、知識を身につけ、正しく整った文字を書ける。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
第1学期	4	●詩 ・春に	・詩の内容がイメージできるように音読できる。 ・言葉の中の春を読む。	30	プリント 中間テスト 期末テスト 和歌 作文 小テスト 作品 音読
	5	●随筆 ・立ってくる春	・表現上の工夫とその効果に注意して読み、作品の魅力を味わう。		
	6	●随筆 なぜ物語が必要なのか	・筆者のものの見方や考え方をもとに、自分の意見をまとめることができる。文章における論理の構成や展開、文脈における語句の効果的な使い方などを理解する。		
	7	●俳句 ・俳句の味わい	・俳句の情景を想像して文章にまとめる。文語定型詩を読み味わう。表現上の工夫に注意して暗唱する。		
	8	●論説 ・AIは哲学できるか	・筆者の提起している課題を共有し、筆者の考えに対する自分の意見を持つ。		
	9	●言語 ・漢字の広場呉音・漢音・熟字訓	・漢字の音の歴史についての理解を深める。		
	10	●読書 ・薔薇のボタン ・構成を考えて主張をまとめる	・戦争の悲惨さについて知る。 ・目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする。		
第2学期	9	●古文 ・和歌の調べ —万葉集・古今和歌集・新古今和歌集—	・古人のものの見方や考え方について、話し合ったり、文章を書いたりして、自分の考えを深める。和歌の技法や歴史的背景を理解しながら、響きを味わう。	45	プリント 小テスト 中間テスト 期末テスト 作品 音読
	10	●古文 ・旅への思い —芭蕉と『おくのほそ道』—	・文語のきまりを知る。歴史的背景に注意しながら文章の特徴を理解して読む。古人のものの見方や考え方について、自分の考えをまとめる。		
	11	●漢文 ・風景と心情—漢詩を味わう—	・漢詩の形式や表現の工夫などを理解して暗唱し、作品の響きを味わう。歴史的背景をふまえて、情景の描写を捉え、		

	11	●文法 ・敬語、付属語	心情を理解して考えを深める。 ・文法の役割について理解する。		
	12	●書写 「毛筆・硬筆」 ●書く ・200字作文を書こう	・速くきれいに美しく書く。 ・自分の考えや思いを条件に従って200字にまとめることができる。		
第3学期	1	●詩 ・初恋	・情景や心情描写に目を向け、登場人物の心情を読み取る。	30	プリント 作品 学年末テスト 音読
	2	●小説 ・故郷 ・バースデイ・ガール	・場面や登場人物の設定のされ方、構成や展開に着目し、作品を批評する。 ・筆者の考え方を読み取り、自分のものの見方や考え方を広くしていく。		

3 評価について

新しい観点	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	・表現と理解に役立てるための、漢字や文法等について理解し、知識を身につけているかを、定期テストの漢字や文法問題で判断する。言語に関する小テストもここに含む。	漢字テスト 文法テスト 定期テスト
思考力・判断力・表現力	・目的や場所に応じ、筋道を立てて話したり、的確に聞き取ったりしているかを、授業時の発言の量や内容で判断します。聞き取りテストや、「話す」の授業、授業時の発言内容も含む。	☆スピーチテスト 発表 定期テスト
	・自分の考えを深め、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に、指定された文字数で、文章を書くことができる。問題や「書く」授業、プリントやノートへ書いたもので判断する。夏休みの課題、テストの結果も含む。	作文 提出作品 定期テスト
	・目的に応じて、様々な文章を的確に読み取り、理解しているかを主に定期テストから判断する。	単元テスト 定期テスト
主体的に取り組む態度	・授業に積極的に取り組むことができる。課題に丁寧に取り組んでいる。 ・音読へ取り組む姿勢。 ・漢字テストへの取り組み。	☆授業中の発言内容や取り組み 振り返り

☆印の項目は、授業に欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）

・朗読テスト、スピーチテスト、暗誦テストについては、家庭で何度も練習しましょう。授業でテストを行います。

5 教材等について

・教科書：伝え合う言葉3（教育出版）

・副教材：進学社『国語活用資料集』、明治図書『よくわかる国語の学習3』、とうほう『まんがで理解楽しい文法』